

元井

平藏藤原定重ハ二河ノ主

其ノ父祖ノ名不見

東照宮ニ往テ奉フニ關東法入國トシテ

榊原武部ト輔康政ニ屬セシメテ後八十

歳ニシテ死スルニテ法名ハ道宗トシテ

其子金玄瑞定次ハ遠江ニ生レテ菅沼小

右膳定利トシテ久廣長七年定利死ス

テ後

東照宮より出され忍れ俣番と命せ
らる後五十五歳小して死つり法名と
道忠とす其子布佐後定連ハ武藏
とける寛永元年より

台徳院殿に仕奉つ同十七年仰とかり

少り清寶藏の番とつとす

寛永諸子孫
系圖詳るるに

近房

助之清職之傳

補遺 天正十八年小田原陣の時城中

堅く守りて容易落さるににより

豊臣太閤今ハ計策とりの降ひへ

とす浮田秀家小議せらるこふとい

て職之秀家下知とらけ謀とめら

く持口の太将太田十郎氏之房と許侍大将